

トピックス **ぶらす**

3/25

災害時の救援活動協力協定を締結

災害時における救援活動協力に関する協定締結式が3月25日、市役所迫庁舎で行われました。今回市と協定を締結したのは、市バス協議会、県板金工業組合登米支部、登米コミュニティエフエムの1社2団体。それぞれ災害時の避難所への輸送、応急復旧協力、災害情報提供を行うという内容で協定が結ばれました。



▲協定書を取り交わし、握手をして協力を誓いました

4/10

正しい自転車のルールを学ぶ

春の交通安全総ぐるみ運動に伴い4月10日、登米地区小学生自転車安全講習会が登米交通公園で開催され、登米警察署管内4地区（登米、豊里、東和、津山）の小学生が安全な自転車走行を学びました。参加した児童は、教育資料館で交通ルールについて学んだ後、交通公園に設置されたさまざまなコースで、安全な自転車走行などを学びました。



▲自転車の正しい乗り方についての問題に挑戦

4/10~24

歴史体験イベントを開催

お花見の季節に合わせ4月10~24日までの各週末、市歴史博物館において博物館ボランティアなどによる歴史体験イベントが開催されました。10日には街頭紙芝居が上演され、参加者は昭和20年~30年代に上演されていた紙芝居を見学。また、11日にはサイカチで作るシャボン玉コーナーなどが開催され、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



▲多くの参加者が初めての紙芝居を楽しみました

4/13

オリジナル商品で登米市をPRしよう

市の食材を活用したオリジナルの商品やネーミングを開発しようとして4月13日、宝江ふれあいセンターで市地域食材活用調理講習会が開催されました。講習会には、地産地消推進店や直売所の担当者が参加し、初回の13日にはフードコーディネーターの八巻美恵子さんを講師に招き、赤豚カレーや登米産牛肉巻きおにぎりの調理法を学びました。



▲食材の味を生かす調理法などについて学びました

身近な環境をいつもきれいに

自然への親しみを深め、環境保護に対する心を育むことを目的に、市スポーツ少年団迫支部クリーンキャンペーンが3月20~22日まで開催され、11団体のスポーツ少年団員と保護者、指導者などが清掃活動を行いました。当日は強風の吹き荒れる中での清掃作業となりましたが、子どもたちは袋いっぱいにごみを回収し、作業によって集まったごみは約320kgにもなりました。参加した団員は、「思ったよりたくさんあった」、「今後はごみを捨てないでほしい」と、話していました。



▲悪天候の中、参加者は散乱しているごみを丁寧に回収しました

安全運転はみんなの願い

春の交通安全運動期間中の4月6日、津山町柳津の小麻地区内で街頭キャンペーンが行われ、交通安全協会津山支部、交通安全母の会が主体となり、ドライバーの皆さんに交通事故防止を呼び掛けました。キャンペーンでは、「交通死亡事故ゼロ」を目指し、交通安全メッセージが書かれた津山産の杉を使用した矢羽板や、啓発チラシを配付しました。ドライバーの皆さんは、「矢羽板はお守りとして大切にします」、「交通事故に気を付けます」などと、笑顔で話していました。



▲交通安全のメッセージが書かれた矢羽板をドライバーに配布しました

平筒沼が魅せるさくらの饗宴

沼の周囲に桜が咲き誇り、水面に映る桜と合せて千本桜となる花見の名勝地の平筒沼ふれあい公園で、4月5日から「平筒沼ふれあい公園桜まつり」が開催され、その期間中の17・18日の2日間イベントが行われました。この平筒沼の桜は、昭和60年に、地域の人々により植樹されたもので、現在では、周囲を埋め尽くすほどの見事な桜となっています。イベント当日は、開花が遅くまだつぼみの花が多い中での開催となりましたが、よさこいや舞踊、歌謡など数多く団体が出演しまつりを盛り上げていました。



▲市内よさこい団体が合同出演し、息の合った見事なよさこいを披露